



学校経営テーマ

学校において資質・能力の育成を目指すすべての活動は、生徒と教職員にとっての学びの場である。

学校経営方針

I 教 育 活 動	(1) 主体的な学び(学びの「態度」)<1 基礎力、6 主体的行動力、10 メタ認知力> ア 高校卒業後の生き方や進路を見据え、生徒が主体的に学び続けることができる基礎力を築く。 イ キャリア教育のガイダンス等により進路実現を意識させ、生徒が主体的に行動する姿勢を醸成する。 ウ 自己の力や特性を捉え、生徒自ら長所を生かしながら学びを調整し進んでいく態度を養う。
	(2) 対話的な学び(学びの「方法」)<4 説明力、5 公共・倫理力、9 協働・共感力> ア ツールとしてのICTを効果的に活用するなどして思考を深め、他者へ説明する力を育成する。 イ 人権や規律を守り、他者を尊重する意識を高め、学びに安心して取り組むことのできる関係性を構築する。 ウ 協働する機会などを通して、よりよい集団作りのためのコミュニケーション能力の育成を図る。
	(3) 深い学び(学びの「深さ」)<2 分析力、3 探究力、7 向上力、8 創造力> ア 分析的に学び、様々な活動を関連付けることで、より効果的な学習活動になるよう工夫改善を図る。 イ グローカルな視野をもち、学科の特長を生かし、指定事業等と関連させながら、探究活動の充実を図る。
II 学 校 運 営	(1) 校内組織 ア 働き方改革を進め、情報共有や役割分担と協働により、機能的・効率的な学校運営の改善を図る。 イ 深い理解のもと、いじめ、不登校、問題行動、特別な支援等に適切に対応する体制構築に努める。
	(2) 教職員 ア 教職員間の良好な雰囲気作りにより、心理的安全性と同僚性が発揮される職場環境の構築に努める。 イ 法令遵守、服務規律の保持のほか、教職員の資質能力を高める研修の機会の確保に努める。
	(3) 地域連携 ア 教育活動の進捗状況や成果などの情報を積極的に発信することで、地域からの信頼を高める。 イ 日頃の丁寧で親身な対応、諸行事等を通して保護者や同窓会との良好な関係作りに努める。 ウ 大学や地域の外部講師や専門人材等を積極的に活用し、地域連携による教育活動の充実に努める。

学校経営検証システム

カリキュラムマネジメント（全日制）

